

# 事務事業評価シート

評価実施年度：平成28年度

上位の施策名称 施策I-2-1  
売れる農林水産品・加工品づくり

## 1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長

農産園芸課長 森上 浩平

電話番号

0852-22-5123

事務事業の名称	農業競争力強化対策事業	
目的	(1) 対象	市町村、農協、農業者の組織する団体、地域農業再生協議会 ほか
	(2) 意図	産地の特色を生かした農業振興に必要な施設整備等を国庫補助事業を活用して支援することにより、産地の収益力を高め、農業競争力を強化する。
事業概要	高付加価値化や生産コスト低減など、産地の収益力を高め、農業競争力を強化する取り組みに必要な共同利用施設整備等の事業費の一部を、国庫補助事業（下記）を活用して補助する。 (1) 強い農業づくり交付金 (2) 産地パワーアップ補助金（※28年度新規事業）	

## 2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名 強い農業づくり交付金に係る事業計画承認件数	目標値		2.0	2.0	2.0	2.0	件
		取組目標値						
	式・定義 事業計画（変更）承認件数	実績値		2.0				%
		達成率		-	-	-	-	
2	指標名 産地パワーアップ補助金に係る事業計画承認件数	目標値		11.0	20.0	23.0	28.0	件
		取組目標値						
	式・定義 産地パワーアップ計画（変更）承認件数	実績値		0.0				%
		達成率		-	-	-	-	

## 3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費 (b) (千円)	662,057	875,672
うち一般財源 (千円)	0	0

## 4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

## 5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

【強い農業づくり交付金】  
27年度の事業計画承認は、次の2件であった。  
益田市 家畜飼養管理施設 事業費：550,962千円 交付金：240,404千円  
浜田市 共同育苗施設 264,309千円 106,811千円

【産地パワーアップ補助金】  
5月に県実施方針を策定し、6月に県事業計画を作成した。  
今後、当該事業のうち整備事業（2件）を先行実施させ、7月以降、生産支援事業及び効果増進事業の計画承認を順次実施する。

## 6. 成果があったこと（改善されたこと）

【強い農業づくり交付金】  
27年度には、（繰越事業1件を含む）3件の事業について補助ができた。  
また、28年度当初に要望していた1件の事業については、ポイント満点で交付決定済みである。

## 7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」  
【強い農業づくり交付金】  
事業実施主体が事業計画策定時に設定した成果目標が達成されていないケースがある。

②困っている状況が発生している「原因」  
【強い農業づくり交付金】  
・成果目標達成への見通しが甘い事業計画が見られる。  
・事業計画策定時には想定し得なかった社会情勢の変化等が起きることがある。

③原因を解消するための「課題」  
【強い農業づくり交付金】  
・将来を見据えた成果目標となるよう、事業計画を策定させる必要がある。  
・事業実施後も、成果目標達成に向けたフォローが必要である。

## 8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

【強い農業づくり交付金】  
・成果目標や事業規模が適切な事業計画を策定してもらうため、市町村等と協力しながら事業実施主体を指導する。  
・事業実施後も事業実施主体の現状把握に努め、市町村等と協力しながら、成果目標達成に向けた指導を行っていく。

・課（室）内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。  
・上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

## 9. 追加評価（任意記載）

--